

事業報告書

(第 7 期)

自 2025年 4月 1日
至 2026年 3月 31日

一般社団法人 日本金融商品仲介業協会

一般社団法人 日本金融商品仲介業協会

第 7 期 （2025 年度）事業報告書

I 概 要

一般社団法人日本金融商品仲介業協会（以下「当協会」といいます）の事業活動に関し、本報告書を取りまとめました。

当協会は、金融商品仲介業の健全な発展を図るとともに、投資家保護の充実を目的として活動しております。第 7 期（2025 年度）（以下「本年度」といいます）も、会員の皆様とともに、業界の信頼性向上と市場の健全な発展を推進すべく、「顧客本位の業務運営」の推進に注力しながら、会員の品質の向上、会員の役職員等の専門性及び倫理観の更なる向上、金融商品仲介業の社会的認知の向上並びに国民の金融リテラシーの向上に資する事業を行い、また、会員間の情報共有、行政や関係団体等との連携の強化に努めて参りました。

当協会の活動が、会員各位並びに関係者の皆様のご理解とご支援のもと、引き続き充実していくよう努めて参ります。

本協会の活動にご協力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年度に実施した主な事業は以下のとおりです。

- 「顧客本位」を極めるためのアドバイザーのベスト・プラクティスの策定、公表
- セミナーを 4 回実施、ゴールベースアプローチ研修実践編の実施
- 第 6 回 FA カンファレンスの実施（対面 146 名とオンライン 128 名、ランチョンセミナー 45 名の参加）
- ラウンドテーブルミーティングの実施（正会員対象、対面）
- 第 2 回経営者オフサイトミーティングの開催（正会員対象、対面、@軽井沢）
- 懇親会 4 回開催（各回会員 30 名～50 名程度の参加、対面）
- 京都大学主催イベント「京都大学金融セミナー（7/7）＜金融リテラシーが未来を拓く 2025＞－金融教育の最前線から探る、我が国の金融リテラシーの現状と未来－」に協賛（オンライン参加者 223 名、学生や一般人）
- リーフレット「IFA という新しい働き方をご存じですか？」の作成、配布
- 協会パンフレットの作成、配布
- 協会説明会（名古屋、東京）の開催
- 金融庁市場課を訪問（2 回）、協会の現状や課題認識について報告、意見交換
- 日本証券業協会や MDRT 代理店分会、日本 FA 代理店協会などと広報や研修、情報収集等で連携・協働

II 事業報告

1 会員加入状況

2026年3月末時点の会員の加入状況は、以下のとおり合計81先となった。

	正会員	法人アソシエイト※1	委託正会員	アソシエイト会員※2	法人賛助会員	個人賛助会員※2
2022年3月末	23社	6社	8社	12名	29社	—
2023年3月末	24社	5社※1	7社	11名	29社	—
2024年3月末	35社	—	4社	15名	31社	—
2025年3月末	37社	—	3社	17名	27社	—
2026年3月末	43社	—	3社	11名※2	23社	1名※2
増減	+6	—	±0	▲6名	▲4社	±0

※1 2024年1月、「法人アソシエイト」を正会員に統合した。

※2 2025年4月、「個人アソシエイト」を金融商品取引関連事業に従事する個人を対象とする「アソシエイト会員」とその他の個人を対象とする「個人賛助会員」に分割した。

2 会員の品質向上

ガイドライン策定・検討委員会の開催状況

今年度中、以下のとおりガイドライン策定・検討委員会を2回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2025年6月18日	・委員長の互選等 ・ベストプラクティスについて
第2回 2026年3月12日	・これからの当委員会の活動について

「顧客本位」を極めるためのアドバイザーのベスト・プラクティスを策定、公表した。

3 会員の役職員等の専門性及び倫理観の向上

(1) 研修委員会の開催状況

今年度中、以下のとおり研修委員会を5回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2025年5月20日	・2025年度社員総会（6/20）後のセミナープログラムについて ・今期のセミナー等の開催日程について ・今期の研修委員会開催日程について

第2回 2025年7月15日	・新委員の紹介、委員長の互選、委員長による副委員長の指名 ・2025年度セミナーの方針・内容について ・9月24日セミナー、11月27日カンファレンスについて
第3回 2025年10月8日	・カンファレンス（11月27日(木)）の内容（講演者等）について ・1月29日(木)セミナーの内容（講演者等）について
第4回 2025年12月10日	・カンファレンス（11月27日）実施報告 ・1月29日(木)セミナーの内容（講演者等）について ・4月9日(木)セミナーの内容（講演者等）について
第5回 2026年3月5日	・定例会セミナー（1月29日）実施報告 ・4月9日(木)セミナーの内容（講演者等）について ・6月19日セミナーの内容（講演者等）について ・2026年度研修計画について

(2) セミナー実施状況

今年度中、以下のとおり4回のセミナーを実施した。

開催日	テーマ	登壇者
第1回 2025年4月18日	①「金融商品仲介業者の現状」 ②パネルディスカッション 「マーケット下落時のお客様への寄り添い方」	金融庁監督局証券課 課長 補佐 曾根原 翼氏 【パネリスト】 フィデリティ投信 執行役員 戦略営業本部長 新村 光秀氏 JP モルガン・アセット・マネジメント 執行役員 投資信託部長 村上 徹氏 【ファシリテーター】 GAIA 代表取締役社長（当協会理事長）中桐 啓貴氏
第2回 2025年6月20日	「関税戦争下の投資戦略」	ピクテ・ジャパン シニア・フェロー 市川真一氏
第3回 2025年9月24日	パネルディスカッション 「ゴールベースアプローチへの取り組み事例の共有」	【パネリスト】 シグマ 代表取締役 吉田 篤氏 CS アセット 代表取締役 社長 水野 健次郎氏 FP バンク 代表取締役

		久保田 正広氏 【ファシリテーター】 GAIA 代表取締役社長（当協会理事長）中桐 啓貴氏
第 4 回 2026 年 1 月 29 日 ＜名古屋開催＞	パネルディスカッション 私の Style と Vision	【パネリスト】 ライフデザイン取締役 名古屋支社長 梅村 彰氏 TA 竹部 伸哉氏 L. A. C 戸塚 正美氏 【ファシリテーター】 エフピーサポート 取締役（当協会理事）可児 康充氏

賛助会員のピクテ・ジャパン株式会社が 2025 年 10 月 24 日から 2026 年 7 月 17 日の間に主催する「プライベート・バンキング・アドバイザー研修」（セッション 16 回 ワークショップ 4 回）に企画協力し、吉永理事が特別セッション「顧客全員と FA の成功と幸福が右肩上がりになる「正しい」ゴールベース資産管理の方法」と題して講演を行った。

(3) ゴールベースアプローチ研修実践編の実施

会員所属アドバイザーの専門知識やスキルの向上を目的として実施された「ゴールベースアプローチ研修実践編」を実施した。

開催日	テーマ	登壇者
2025 年 6 月 20 日	ラップの深化の具体的方向性	野村総合研究所アメリカ（NRI アメリカ）金融・IT 研究部門長（当協会理事）吉永高士氏
2025 年 9 月 24 日	米国の対面アドバイザー業界等における生成 AI の先行利用状況と日本への応用	〃
2026 年 1 月 29 日	「米国ファイナンシャルアドバイザーのキャリアパスと報酬体系」	〃

(4) FA カンファレンス実施状況

第 6 回 FA カンファレンスは、「IFA の未来を切り拓くベストプラクティスー成長と信頼の両立」をテーマに 2025 年 11 月 27 日、金融庁の後援、MDRT 代理店分会、日本 FA 代理店協会の協力

の下、対面 146 名とオンライン 128 名の参加を得て実施した。またサブ会場にて、出展した法人賛助会員 11 社によるランチョンセミナーを開催し約 45 名の参加があった。

テーマ	登壇者
賛助会員によるランチョンセミナー	アセットマネジメント One ピクテ・ジャパン 大和アセットマネジメント NTT データエービック 東京海上アセットマネジメント 三井住友トラスト・アセットマネジメント QUICK 三菱UFJアセットマネジメント 野村アセットマネジメント ムゲンエステート キャピタル・アセット・プランニング
【主催者挨拶】	日本金融商品仲介業協会 理事長 中桐 啓貴
【基調講演】 「資産運用立国」の更なる推進に向けた諸施策について	金融庁 企画市場局 市場課長 齊藤 将彦氏
【特別講演】 高市政権・トランプ関税で何が変わる？ 短期変動に惑わされない年金型長期運用のポイント	楽天証券 チーフ・ストラテジスト 窪田 真之 氏
【パネル】 運用会社による IFA へのサポート施策について	<パネリスト> ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 投信営業部 ヴァイス・プレジデント 内村 巖 氏 三菱 UFJ アセットマネジメント 投信営業第三部 部長 酒井 香織 氏 アセットマネジメント One 未来をはぐくむ研究所 主席研究員 花村 泰廣 氏 <ファシリテーター> 財コンサルティング代表取締役社長（当協会理事）田中 唯 氏

【講演】 「顧客本位」を極めるためのアドバイザーのベスト・プラクティスの解説	協会ガイドライン策定・検討委員会 委員長 ファイナンシャルスタンダード 代表取締役 福田 猛 氏 協会ガイドライン策定・検討委員会 副委員長 野村総合研究所アメリカ（NRI アメリカ） 金融・IT研究部門長 吉永 高士 氏
【IFA 座談会】 信頼されるアドバイザーになるための私の流儀	< 登壇者 > フィナンシャルリンクサービス 代表取締役/MDRT 日本会 代理店分会 会長/日本FA 代理店協会理事）伊月 貴博氏 リスクマネジメント・ラボラトリー IFA 廣田 舞子氏 ブロードマインド IFA 本部 IFA 事業部 営業責任者 氏家 大輔氏 <ファシリテーター> エフピーサポート 取締役（当協会理事）可児 康充氏

4 金融商品仲介業の社会的認知の向上

今年度中、以下のとおり認知度向上委員会を5回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2025年5月28日	・協会ホームページ流入状況等 ・協会への会員加入促進のためのパンフレット作成について
第2回 2025年8月22日	・新委員ご紹介及び委員長の選任（互選） ・協会ホームページ流入状況等 ・今後の施策案について
第3回 2025年10月23日	・協会ホームページ流入状況等 ・PWM日本証券実施の委託先 IFA 説明会への出講について ・協会パンフレット作成の進捗状況 ・会員勧誘状況の共有 ・今後の施策案について
第4回 2025年12月12日	・協会ホームページ流入状況等 ・協会パンフレットの完成報告 ・第6回カンファレンスのダイジェスト動画 ・協会ホームページの改修について ・会員勧誘状況の共有
第5回 2026年2月19日	・協会ホームページ流入状況等 ・来年度の施策と予算案について ・会員勧誘状況の共有

	・日本 IFA フォーラムへの協力 ・新コラム公開について ・今後の施策等
--	---

また、以下の活動を行った。

① 協会ホームページ等の活用

- ・協会ホームページに「投資を学ぼう」のコラムを2本掲載し、一般投資家向けコンテンツの充実を図った。また、新コーナー「入会をご検討の方向けコラム」【協会メンバーインタビュー】3本を掲載した。
- ・X アカウントにて投稿を行った。
- ・メールマガジンの配信 毎月1回、会員等へのメッセージ発信や連絡等を行った。(12回/新春特別号1回)

② 協会パンフレットを作成、配布した。

③ 本年度中に発信した「お知らせ」は40件。

5 金融リテラシー関連事業

今年度中、以下のとおり金融リテラシー委員会を4回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2025年4月23日	・金融リテラシー委員会の2025年度活動について ・リーフレット制作及び京都大学とのコラボ企画について
第2回 2025年7月24日	・新委員の紹介 ・委員長の互選について ・委員長による副委員長の指名 ・京都大学金融セミナー活動報告
第3回 2025年9月19日	・リーフレット案について ・2026年度の委員会活動方針について
第4回 2026年3月9日	・2025年度の委員会活動について（振り返り） ・2026年度の金融リテラシー委員会活動計画と予算について ・次期委員候補の選任について

京都大学とのコラボ企画

京都大学金融セミナー(7/7)「金融リテラシーが未来を拓く 2025ー金融教育の最前線から探る、我が国の金融リテラシーの現状と未来ー」に協賛(オンライン参加者223名、学生や一般人)し、テーマ「学校における金融教育の現状と未来」に中桐理事長がパネラーとして登壇した。

6 会員間の情報共有及び行政等との連携

① 会員間の情報共有

会員間の意見や情報交換、金融商品仲介業界における課題認識を共有する場として、正会員を対象に対面によるラウンドテーブルミーティング及び経営者オフサイトミーティングを以下のとおり開催した。また、4月、6月、9月、1月に懇親会を開催した。

【ラウンドテーブルミーティング】

開催日	テーマ	進行役
2025 年 4 月 18 日	「相場変動時における IFA の役割とは」	ファイナンススタンダード株式会社 石川 裕次郎氏

【経営者オフサイトミーティング】

開催日	内 容	参加者
2025 年 7 月 31 日 ～8 月 1 日	1. オープニングセッション ウェルカムスピーチ（中桐理事長） アイスブレイク 簡単な自己紹介 2. ディスカッション ①現状の IFA 業界の課題の整理と国、行政への要望書案の作成 ②正会員の FA 協会の活用方法について ③人材採用について ④新規入会者の紹介 懇親会	正会員代表者等 13 名

② 行政や関係団体等との連携

金融庁市場課及び証券課を訪問し、協会の現状や課題認識について報告、意見交換を行った。
日本証券業協会や MDRT 代理店分会、日本 FA 代理店協会など、広報や研修、情報収集等で連携・協働した。

7 会員の加入促進

会員加入のための説明会を以下のとおり名古屋及び東京で実施した。

日程	場所	参加者数
2026 年 1 月 28 日(水)	名古屋	2 社 3 名（うち 1 名個人）
2026 年 2 月 16 日(月)	東京	5 社 7 名

8 アンケートの実施

正会員は倫理綱領・行動規範に沿って真に顧客本位の業務運営に取り組むことに賛同している。
その取り組み状況を調査し、実態の公表を行った。

事業報告の附属明細書

2025 年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特になく、 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」 第 34 条第 3 項に規定する附属明細書は作成しない。